

A：達成できた B：概ね達成できた C：やや達成できなかった D：達成できなかった			
学 校 教 育 目 標	重 点 目 標（中 期 目 標）	今 年 度 の 重 点	総 合 評 価
たくましく かしこい子どもの育成	深く考え取り組む子ども（知） ⇒ かんがえよう 思いやりのある子ども（徳） ⇒ つながろう 健康でがんばりのきく子ども（体） ⇒ やりぬこう	合言葉 「さあ、つながろう！」 互いに認め合える、 居心地のよい学校づくり	・昨年度の中間評価と比較すると A 評価の項目が増えている。（あいさつ、体を動かす、安心安全な学校生活、児童理解）日々の取組を肯定的に評価できている。 ・地域連携に課題があると感じている。地域の人材活用と共に地域素材の掘り起こしと教材化にも目を向けたい。

分 野		評 価 項 目	評 価 の 観 点	評 価				中 間 評 価
				A	B	C	D	
教育活動	学級経営	誰一人取り残すことのない、安心感のある学校づくりを目指して～「予測困難な時代」を、共にたくましく生き抜く子どもたちを育てるために～」	どの子に対しても個別最適な学びの方法と学びの場を考え、子どもたちの個性を最大限に引き出し、主体的な学びを支援することができたか。		○			・4月に小や学校生活スタートさせた子どもたちが、安心して学校生活を送れるようにルールづくりの力をより定着させていくとともに、自分たちで考えて活動していくことを意識した学習活動をつくりだしていきたい。 ・それぞれ立場の違いはあるが、校内の先生方は、川辺小学校の全ての子どもたちが充実した学校生活を送る児童については連携して支援をすることができた。
	教育課程	地域と連携した教育課程づくり	地域の素材・人材の参画を図った活動ができたか。			○		・地域の方々による提案に応じて共に活動する時間ができた。社会科や総合的な学習の時間において学校から地域に出たり教室にお呼びする機会を設けたい。
		chromebookやICT機器の活用	chromebookやICT機器を活用した授業づくりに取り組むことができたか。		○			・ICTやアプリを用いた実践についてどんなものをどのように活用しているか共有できる機会をもちたい。
	かんがえよう	最後まで話を聞く	発表者の考えをしっかりと聞き取るために、視線を向け、静かに聞くように指導や支援をすることができたか。		○			・ふり返りの時間を意識的に位置づけられるよう取り組んだ。
		自分の考えをもち、書く	わかったこと・気がついたこと・思ったことを書く時間を確保できたか。		○			・学習の言葉で振り返りを終末場面に位置づけたことで、その時間に何を学んだのか子どもたちが自分の言葉でノートに書くようになってきた。活動によっては、ふり返りの時間がとれない分もあつたので、しっかり時間が設けられるようにしたい。また、実験等で確かめたことを、言葉で表現できるよう支援した。キーワードを示す、文章の書き始めを示す、選択式にする、声に出してみる、体で表現するなどして、言語化・具現化しやすいようにした。
		進んで伝え合う（発表・表現）	子どもたちが意見を出し合う時間を確保していたか。		○			・支援学級では、振り返りなどは難しいので、その時間、学習に集中して取り組めるように気を配った。
		一人ひとりが追究し、学習したことをふり返る	一人ひとりが見通しを持って追究ができるように、ねらいを明確にした授業を心がけ、学習のふり返りを終末場面に位置づけることができたか。		○			・真面目に取り組んでいるものの、学習したことの定着が難しい。個人差もだんだん大きくなり、指導の難しさを感じている。その中で、算数の少人数学習では、低位の児童のペースに合し、わせめ細かな指導をしていた。また、グルーピングやペアで自分の考えを伝え合う場面をできるだけ多く設定し、自分の言葉で話せるよう深める活動になかなかつなげられない点が課題である。
	つながろう	心をこめた明るく元気なあいさつ	日常的な声かけや児童会活動により、あいさつのよさを自覚させながら、積極的にあいさつをしようとするよう働きかけたか。	○				・あいさつは、「相手より先にあいさつする」ことを大切にして指導した。
		ひびく歌声	全校音楽、学年音楽、音楽会で歌う時間を設け、子どもたちが共に声を合わせて歌うよさや楽しさを感じるようにしたか。		○			・毎日元気にあいさつをしたり、朝の会の活動で毎朝歌の活動をしたりした。あるとき、「今日、朝教室に入って『おはよう』と言ったら、みんなが返事をしてくれてうれしかった」と話していて、お互いを思いやる気持ちが芽生えてきているなど感じた。引き続き、お互いを大切にしたい。過ごせることを大事にしていきたい。
		相手の気持ちに近づいた考えや思いやりのある行動	自分や友達のよさを大切にするよう、日常の様々な事象をもとに、子どもたちに考え行動するよう働きかけたか。		○			・相互関係や集団の中で、思いやりや挨拶が交わされ、学級、学校全体に広がるのが楽しみである。
	やりぬこう	外で元気に体を動かす	外へ出て元気に体を動かすよう、遊び時間や朝活動などで運動時間を確保しているか。	○				・友達へのさりげない言葉かけや手を添える、手を貸すなどの温かい行為を取り上げ、皆に紹介するようにした。
		食育を通して、給食をバランス良く味わって食べる	食育を通し、自校給食のよさや感謝を持ち、子どもたちがそれぞれの食べられる量の中でバランス良く味わって食べるよう工夫したか。		○			・2学期はリフレーミングを取り上げた。
		規則正しい生活	教師も子どもも授業開始や授業の終了時刻などを守るようにしたか。		○			・毎日歌を歌ったり、ダンスをしたりすることができた。
		共に鍛える	全校体育、運動会を通して、なかまとの共同の喜びや達成感を得させることができたか。（「自己評価カード」で振り返りを行う。）		○			・朝の会の時間を大事にしたいが、その他の内容もあり時間をとることが難しい。
		基礎学力の定着	スモールステップ学習やドリル学習の継続など、基礎事項の定着を行っていたか。		○			・昨年度給食室で実施していたように、給食の残食を重さでご飯茶わんで視覚化して、完食を目指せるよう促した。
	生徒指導	安心・安全な学校生活	学校のきまりやマナーを守って生活するように働きかけたか。	○				・運動会では、目標に向かって熱心に練習に取り組む姿が見られた。運動会当日は、自分や学年の種目で全力で取り組むとともに他の子や学年の応援でも盛り上がることもできた。
		心を込めた掃除	「もくもくタイム」を通して、心を込めた掃除を行い、学校や教室の環境整備ができたか。		○			・全校体育に合わせ各学級でも取り組む時間をもち共に体を動かしたり応援したりする喜びを感じることができた。
								・日々の生活のきまりを守って過ごすことのよさを伝えた一学期だった。 ・気になる行動がみられたとき、学級や学年で確認した方がよい事案があった時に働きかけている。
								・前向きに清掃に取り組む子が多く、「綺麗になると嬉しい」と話す子もいた。2学期でも、進んで周囲の環境を整えたり、活動したりすることを大切に指導していきたい。 ・時間いっぱい掃除をする姿が見られたが、まだ話をしながら掃除をしている児童も多い。静かに集中して掃除ができるよう、声をかけていきたい。 ・縦割り清掃の取り組みは子どもたちにとって、とてもよい時間だった。縦割り清掃後は、おしゃべりが減ったように思う。

学校運営	保護者との連携							・清掃分担について学年ごとの人数の差もあるので、弾力的に見直していくことも必要である。 ・学級通信を発行し、できるだけ学校の様子が保護者の方々に伝わるように心掛けたが、連絡帳に予定を書くことができないため、持ち物のことで問い合わせをいただくことが多くあつた。子どもが話している内容だけの伝達では保護者の方々も分からないことが不安にさせてしまうことが多いと思うので、保護者の方に確実に連絡事項を伝えていけるようにしていきたい。 ・学級だよりを毎日出し、学校の様子を家庭へ伝えることができた。 ・ボランティア、保護者含め連携できるよう働きかけていきたい。
	家庭学習の充実	家庭学習の習慣化や学習内容の定着・意欲の向上を図る働きかけができたか。		○				
	PTAやボランティアとの連携	学校はPTAやボランティアとの連携を行っているか。		○				
	研修	児童理解・非違行為防止研修	児童理解・非違行為防止等の研修を行い、自己研鑽に努めたか。	○				